

## 令和5年度 第1回山北町まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

- 1 開催日時 令和6年3月27日(水)  
開会：10時00分 閉会：11時10分

- 2 開催場所 山北町役場 401会議室

### 3 出席者(敬称略)

#### (1) 委員 5名

株式会社トヤマ 総務部長 香川 篤史  
山北町 副町長 石田 浩二  
神奈川県立山北高等学校 校長 岩本 明子  
横浜銀行山北支店 支店長 梅田 秀治  
さがみ信用金庫開成町支店 支店長 林 裕樹

#### (3) 事務局 3名

参事兼企画総務課長 佐藤 孝行  
企画総務課主幹 平野 泰輔  
企画総務課主任主事 小島 大和

### 4 会議概要

- 1 開 会 参事兼企画総務課長

#### 2 議題

##### (1) 山北町総合戦略の令和4年度進捗状況について

会 長	それでは、議題(1)山北町総合戦略の令和4年度進捗状況について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料により説明。
会 長	この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。
委 員	地域公共交通網の形成事業について、令和5年度計画策定しているというこ

とだが、具体的な内容を教えていただきたい。

事務局

令和6年度から令和10年度までの5か年計画になる。具体的には、町内循環バス、共和福祉バス、スクールバスなど、現在町が運行している交通手段があるが、例えば、スクールバスについては子供だけでなく一般の方の利用もできるように今後、検討をしていく。また、生活交通については、JR 御殿場線や富士急モビリティの利用促進を図る啓発活動をしていくというような計画を策定した。

委員

D52 奇跡の復活事業について、軌道延伸延長のための資金調達を図っているということだが、具体的な内容を教えていただきたい。

事務局

令和4年度に鉄道公園内で遊具の移設を行い、延伸できるように整備した。  
詳細な設計はまだできていないが、資金調達の目途が立てば整備する。延伸事業に税金の投入は難しいため、外部から資金調達できれば早急に取り掛かる予定である。

委員

外部からの資金調達であれば、クラウドファンディングやふるさと納税が考えられる。

委員

観光資源活用事業について、SUP のリピーター確保に向けた対策を実施中とあるが、具体的にはどんな対策をされているのか。

事務局

数回参加していただいた方にはTシャツのプレゼントを行っている。

会長

SUP については、業者に委託し講習や体験会を開催している。また、7月に丹沢湖でカヌーマラソンを開催しており、参加者はカヌーよりもSUPの方が増えてきている状況である。

委員

オリーブ栽培の促進について、新規作物の検討をしているとのことだが、具体的にはなにか。

事務局

にんにくを検討しているが決定はしていない。

会長

農業振興推進会議において、オリーブ栽培をしていただける方が少ない状況の中で、さらに台風や害虫の影響もあり課題が多いとの意見があった。現在、ぐみの木公園や日向地域でオリーブ栽培を実施しているが、オリーブ栽培を中

断するのではなく、どういう土地であれば育てやすいのか被害が少ないのかを調査していこうということで方向性がでた。

委員

婚活イベントについて、令和5年度は見送られたそうだが、理由はなにか。

事務局

婚活イベントについては、町外の方が多く参加しており、カップル成立数が多くても山北町への定住にはつながっていないため、令和5年度は見送っている状況である。

委員

定住につながらなくても関係人口につながる可能性があるため、今後も実施したほうが良いと思う。

委員

やまきた定住協力隊活動の実施について、1人の方が移住しているが、移住の決め手は何か。

事務局

空き屋見学ツアーを利用し移住された方に対して、移住の決め手などの調査は実施していないが、第6次総合計画策定時にサンライズ山北、サンライズ東山北、ヒルズタウン丸山、みずかみテラスに移住してきた30組程の方にアンケート調査を行った結果、移住の決め手として自然を理由に挙げられている方が多かった。

委員

高等学校の機能強化について、山北高校の生徒はどのようなボランティアに参加したのか教えていただきたい。また、地域間交流活性化事業の推進について、実績0が続いているが、状況を教えていただきたい。関係人口の話になるが、高校生は大学入学を機に町を出る子が多いため、卒業後に町に戻ってくる確率を上げるためにも、若年時にいかに地域の触れ合いを深く持っているかということが重要だと思う。

委員

山北高校では「探求」という教科で山北町と関りをもっている。1年時には町内の様々なところに生徒自身が足を運び、みんなで楽しみながら町を知るような取り組みをしている。3年時には、山北町の活性化について、検討を行い発表していただく取り組みを行っている。

事務局

高等学校の機能強化については、山北高校や鹿島山北高等学校と直接連携を図ったものになる。地域間交流活性化事業の推進については、町外に暮らして

いる小、中学生や高校生のボランティア参加数になるため、実績として大きく乖離がある。

委員

以前、地域おこしの事例発表の話を聞いた際、高校生が地域のふるさと返礼金を考える活動事例があり、クッキーなどのお菓子を作り、SNS で拡散するという取り組みだった。発表の中で非常に良かった点としては、高校生が一生懸命取り組むことにより、その地域にいる方々のモチベーションも上がり、地域の活性化に繋がっていたことであつたため、山北町においても地域間交流は非常に重要な部分だと感じている。

会長

山北高校の生徒から食べ歩きマップを作成し飲食店の紹介をしたらどうかと提言をいただき、町及び商工会で食べ歩きマップを作成したら非常に好評だった。今年度は健康寿命を延ばすために脳トレの講座を開催したらどうかと提言をいただき、健康福祉センターで高齢者の方々を対象に高校生に来ていただき、脳トレを実施していただいた。

委員

地域活動を行うにあたっては、若い世代と高齢者が一緒になって活動し、その地域活動は何のためにやるのか、暮らしている人は実際に何に困っているのかを深く知ることにより、お互いにより良い活動になる。

委員

山北高校の生徒の活動は、神奈川新聞で拝見した程度しか把握できていない。SNS 等での発信に力を入れPR していけば、町の活性化につながると思う。

委員

タウンニュースが大手のメディアではない中でも比較的投資効果が高いと思う。外国人観光客向け観光資源の活用について、中川温泉旅館組合のホームページを確認したが、英語の表記がなかったため改善する必要がある。旅館の経営問題も関係するが、総合戦略として目標を掲げているのであれば、なんらかの対応が必要だと思う。

会長

外国人観光客については、ハイカーが多いため、案内板等の整備は行っている。今後は、旅館組合にも働きかけ、所管課と調整の上、進めていきたい。

委員

優先順位もあると思うが、何らかの整備を行い、優良事例を積み上げていくことが大切である。

(2) 企業版ふるさと納税について

会 長

次に、議題（2）企業版ふるさと納税について、引き続き、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

資料により説明。

会 長

この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

特になし。

3 その他

事務局

参考資料により説明

会 長

この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

特になし。

4 閉 会 参事兼企画総務課長

以 上